

令和 6 年度 泉が丘中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

（1）基本目標

人間尊重の精神を基盤に，個性豊かで情操に富んだ人間として，平和で民主的な社会の発展に貢献する生徒を育成する。

（2）具体目標（目指す生徒像）

- ・ 情操や感性が豊かで個性のある生徒
- ・ 自主的に学び創造性に富む生徒
- ・ 心身ともに健康で実践力のある生徒

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

（1）あいさつができ，いじめのない，居がいのある学校を目指す。

（2）自主性を尊重し，生徒や教職員の良さが十分に活かされる学校を目指す。

（3）保護者や地域から信頼される，開かれた学校を目指す。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

（1）○体力の向上を図り，主体的に行動できる能力・態度の育成に努める。

（2）○心豊かな人間性の育成に努める。【重点】

（3） 確かな学力の定着を図り，学習意欲を高める授業の確立に努める。

（4） 小中一貫教育と地域学校園の取組の円滑な推進に努める。

（5） 持続可能な社会を目指し E S D を推進する。【重点】

（6） 働き甲斐のある職場づくりの推進に努める。【重点】

【泉が丘地域学校園教育ビジョン】

望ましい人間関係をつくり，進んで学び合う児童生徒の育成
～ 学びの泉 おもいやりの泉 げんきの泉 ～

4 教育課程編成の方針

（1）「第 2 次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」等を踏まえ，本校教育目標が達成できるよう全職員の理解と協力によって編成する。

（2）新中学校学習指導要領改訂のポイントである「社会に開かれた教育課程」「これからの時代に求められる資質・能力」「カリキュラムマネジメント」「主体的・対話的で深い学び」を踏まえる。

さらに，教科横断的な視点に立った資質・能力の育成を図るため，教育課程全体において，教科横断的な視点からの指導のねらいの具体化や，教科等間の指導の関連付けなどを推進する。

（3）「G I G A スクール構想」推進に向けて 1 人 1 台端末の本格的な活用を積極的に進めていく。

（4）生徒の調和のとれた育成を目指し，学校の実態及び生徒の心身の発達段階を十分に考慮する。

（5）宇都宮市の小中一貫教育の趣旨を生かし，泉が丘地域学校園内の小学校と連携しながら，創意工夫を生かした特色ある教育，特色ある学校づくりを進めるような編成を行う。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

(1) 学校運営 ・専門職としての自覚を高め、常に組織的な対応に努める。 ・子どもと向き合う時間を確保するために、校務の工夫改善及びスリム化を図る。 ・教職員の時間管理を徹底し、勤務時間を意識した働き方を推進する。 (2) 学習指導 ○基礎・基本を確実に習得させ、それらを活用する力や、自分で考え判断し、表現する力を育成するとともに、目標を持ち、自ら学ぶ意欲を育む。 ・総合的な学習の時間などで、E S Dの理念を生かした学習活動を取り入れる。 (3) 児童生徒指導 ○心の教育の充実により、自信や自己有用感、規範意識、思いやりを育成するとともに、たくましさを涵養する。 ・不登校、いじめの未然防止を図るため教育相談を充実させるとともに、不登校の解消を図るため生徒個々の状況にあわせて柔軟に対応する。 (4) 健康（保健安全・食育）・体力 ○生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を送るための資質や能力を育成する。 ・自己の体力の現状を具体的に把握させ、積極的に自己の体力を伸ばしていこうとする態度を育てる。
--

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標（小・中学校共通、地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1ー(1) 確かな学力を育む教育の推進	A 1 生徒は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒肯定的回答 90%以上	・授業の中で、生徒が自分の意見を自由に発表できる機会や雰囲気を作り、思考力・判断力・表現力を育む。 ・授業の中で、タブレット端末の活用やグループ学習の機会を増やし、「共に考え合え、学び合える場」を計画的に設定し、主体的な学習態度を育む。		【達成状況】 【次年度の方針】
1ー(2) 豊かな心を育む教育の推進	A 2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 生徒肯定的回答 90%以上	・特別の教科道德で、学校行事と関連する内容の題材を取り上げ、人権尊重の心や思いやりの心を育む。 ・学校教育活動のあらゆる場面で、「 <u>相手がどのような気持ちなのか</u> 」を <u>考える力</u> 、「 <u>自分とは異なる考え方</u> 」を <u>受容できる力を重視し、様々な立場の人との共生への意識を高める。</u>		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 3 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 生徒肯定的回答 90%以上	・学習や学校行事、部活動に目標を立てて取り組ませ、振り返りを行わせることで、次への意欲を高めさせる。 ・ <u>目標実現に向けて努力することの大切さを、全教育活動を通して伝え、目標実現に向けて努力する生徒の姿を認める。</u> ・「キャリア・パスポート」の効果的な活用方法について、地域学校園内の小学校と連携を図りながら整備していく。		【達成状況】 【次年度の方針】

1ー(3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	A 4 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 生徒肯定的回答 90%以上	・生徒会専門委員会（保健・給食・安全・体育委員会）活動の活性化を図り、生徒の健康や安全に対する意識を高める。 ・<u>学級活動、給食指導、地域学校園お弁当の日等で栄養バランスが大切であることを理解させ、実践化していく。</u> ・<u>熱中症等の健康危害に関する情報をもとに、的確に判断し、行動できるように支援する。</u>	【達成状況】 【次年度の方針】
1ー(4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	A 5 生徒は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 生徒肯定的回答 90%以上	・学校行事や生徒会活動、部活動等において、<u>生徒の活躍する姿を称賛したり、内外に知らせることで、生徒一人一人に自信をもたせ、より積極的な活動が出るように促していく。</u>	【達成状況】 【次年度の方針】
2ー(1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進	A 6 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 生徒肯定的回答 80%以上	・授業で、教科書の言語教材を活用し、リスニングやスピーキングの練習を丁寧に指導し、様々な音調に慣れさせていく。 ・学校生活や修学旅行等で、A L T等の外国人に積極的に英語で話しかけることができる態度を育成する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 7 児童生徒は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 生徒肯定的回答 80%以上	・社会科や理科、総合的な学習の時間で、宇都宮市の地域教材を扱い、地域社会への理解を踏めさせる。 ・地域のボランティア活動や市の行事に積極的に参加させることで、地域社会や宇都宮市の良さに触れさせていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
2ー(2) 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進	A 8 生徒は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 生徒肯定的回答 80%以上	・各教科の授業で積極的に I C T 機器を活用するとともに、臨時の学年・学級休業時にも臨機応変の対応ができる体制を整える。 ・学校図書館を調べ学習のベースとして活用できるように、教育課程と関連付けて図書の整備を充実させる。	【達成状況】 【次年度の方針】
2ー(3) 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進	A 9 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 生徒肯定的回答 80%以上	・持続可能な社会を目指し E S D を推進する。 ・総合的な学習の時間を中心に E S D の理念を生かした学習活動を取り入れ、世の中の課題と向き合いながら、日常生活の中で自分たちにできることを考え、実践できるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
3ー(1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進	A10 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員肯定的回答 市平均と同程度	・<u>特別支援教育コーディネーターや教育相談担当、生徒指導主事を中心に、特別な支援を必要とする生徒に関する共通理解を図り、個々のニーズに応じた支援を行う。</u> ・個別の支援計画を作成し、保護者との合意形成に努め、かがやきルームや日本語教室の適正な運用を行うなど、合理的配慮を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】

3-(2) いじめ・不登校対策の充実	A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 生徒肯定的回答 90%以上 保護者肯定的回答 80%以上	・「いじめアンケート」や教育相談、宮っ子ダイアリー等も活用し、いじめの早期発見に努める。 ・特別の教科道徳の授業や「いじめゼロ強調月間」を活用したり、日常生活の言動に注意を払い、いじめの未然防止に力を入れて行く。 ・教職員全体で組織的な取組を行い、自己肯定感や他者信頼感を育てていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 保護者肯定的回答 90%以上	・生徒が自己肯定感をもち、互いに認め合える受容的・共感的な雰囲気のある学級づくりを行っている。 ・教育相談、Q-U調査、各種アンケート等を活用し、不適応傾向のある生徒の早期発見と早期対応に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
3-(3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実	A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 保護者肯定的回答 80%以上 地域住民肯定的回答 80%以上	・学校行事や生徒会活動等を活用し、生徒が主体的に活動できる場面を意図的に設け、生徒が生き生きと活動できる雰囲気づくりに努める。 ・<u>級友の良さを認め合い、助け合える居心地の良い学級づくりに努める。</u>	【達成状況】 【次年度の方針】
3-(4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化			
4-(1) 教職員の資質・能力の向上	A14 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 生徒肯定的回答 90%以上	・教科・学年・学級の実態に応じて、習熟度別学習や少人数学習、T・Tによる授業を適宜取り入れ、個に応じた指導を行う。 ・ねらいの提示と振り返りを行うとともに探求型の授業や言語活動の充実を図り、主体的に学習に取り組める授業を展開する。	【達成状況】 【次年度の方針】
4-(2) チーム力の向上	A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員肯定的回答 市平均と同程度	・教職員間の信頼関係をより一層深められるように、風通しの良い学校風土づくりを進める。 ・教科部会や校務分掌部会を有効活用し、連携・協力体制を整える。 ・教職員の業務改善を図るために、SC、MS、ALT等とのより一層の連携・協力を行っていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
4-(3) 学校における働き方改革の推進	A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員肯定的回答 80%以上	・出勤退勤時間管理により、一人一人が勤務時間を意識し、校務の効率的な実施や計画的な処理に努める。 ・校務分掌関係データフォルダの再整理を行い、全職員がポータルサイトからすぐに活用し、校務を効率的に処理できるシステム構築を進める。 ・ミライムによる電子起案を有効活用し、キャビネット内のデータを全職員が有効活用できるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
5-(1) 全市的な学校運営・教育活動の充実	A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 保護者肯定的回答 90%以上	・越戸せせらぎ通りや駅東公園清掃美化活動の充実をはかるために、継続して小学校との連携を図っていく。 ・事務・図書館司書・養護教諭を中心に、地域学校園相互の支援体制を充実させる。 ・乗り入れ授業において、小学校との連絡・調整を密にし、学習指導や生徒指導に関する各部会の活動を活性化する。	【達成状況】 【次年度の方針】

5- (2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進 5- (3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進	A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 保護者肯定的回答 90%以上 地域住民肯定的回答 90%以上	・家庭や地域社会との連携を図り、各種ボランティア活動に積極的に参加させる。 ・地域学校協働活動推進員や地区コミュニティセンターとの連携を図り、学校支援ボランティアや地域人材を活用した諸活動を推進する。 ・学校だよりや学校HP、地域協議会だより等で、学校の取組や生徒の様子などを発信する。	【達成状況】 【次年度の方針】
6- (1) 安全で快適な学校施設整備の推進	A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 保護者肯定的回答 90%以上 地域住民肯定的回答 90%以上	・定期的な安全点検や日々の教育活動の中で、教職員・生徒・施設利用者それぞれが気づいた不備の情報を共有し、改善していく。 ・防火・防災計画、危機管理マニュアルに基づき、不測の事態にも対しても迅速に対応できるようにする。 ・友遊いずみクラブと連携し、学校施設の地域開放を円滑に行えるようにしていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
6- (2) 学校のデジタル化推進	A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。 【数値指標】 教職員肯定的回答 90%以上	・W I F I 環境の有効活用や一人一台端末利用方法等について研修を進め、各教科の授業や総合的な学習の時間、生徒会活動において、積極的にI C T機器を活用していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	B1 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 生徒肯定的回答 90%以上	・生徒会を中心としたあいさつ運動、地域学校園の小中合同あいさつ運動の取組を発展させ、あいさつの習慣化を図る。 ・教職員から率先してあいさつすることで、生徒のあいさつへの意識を高める。 ・登下校指導を通して、地域や小学校との結びつきを強め、地域全体であいさつができる雰囲気づくりを行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B2 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 生徒肯定的回答 90%以上	・学校の決まりについて、入学時に新入生に対する指導を徹底するとともに、教職員の共通理解を図る。 ・生徒指導部を中心に、日頃から生徒の規範意識を高める指導を根気強く継続していく。 ・<u>きまりやマナーを守って学校生活をしている生徒の姿を称賛し、実践意欲を高める。</u>	【達成状況】 【次年度の方針】
	B3 学校は、地域の小学校や高等学校との連携を図ったボランティア活動などを通して豊かな心を育てている。 【数値指標】 生徒肯定的回答 80%以上 保護者肯定的回答 80%以上	・特別の教科道徳や学級活動、総合的な学習の時間を活用し、生徒のボランティア意識を高揚する。 ・地区コミュニティセンターと連携し、小・中・高校生が共に取り組めるボランティア活動を紹介し、実践できる機会と雰囲気づくりを進めていく。	

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。